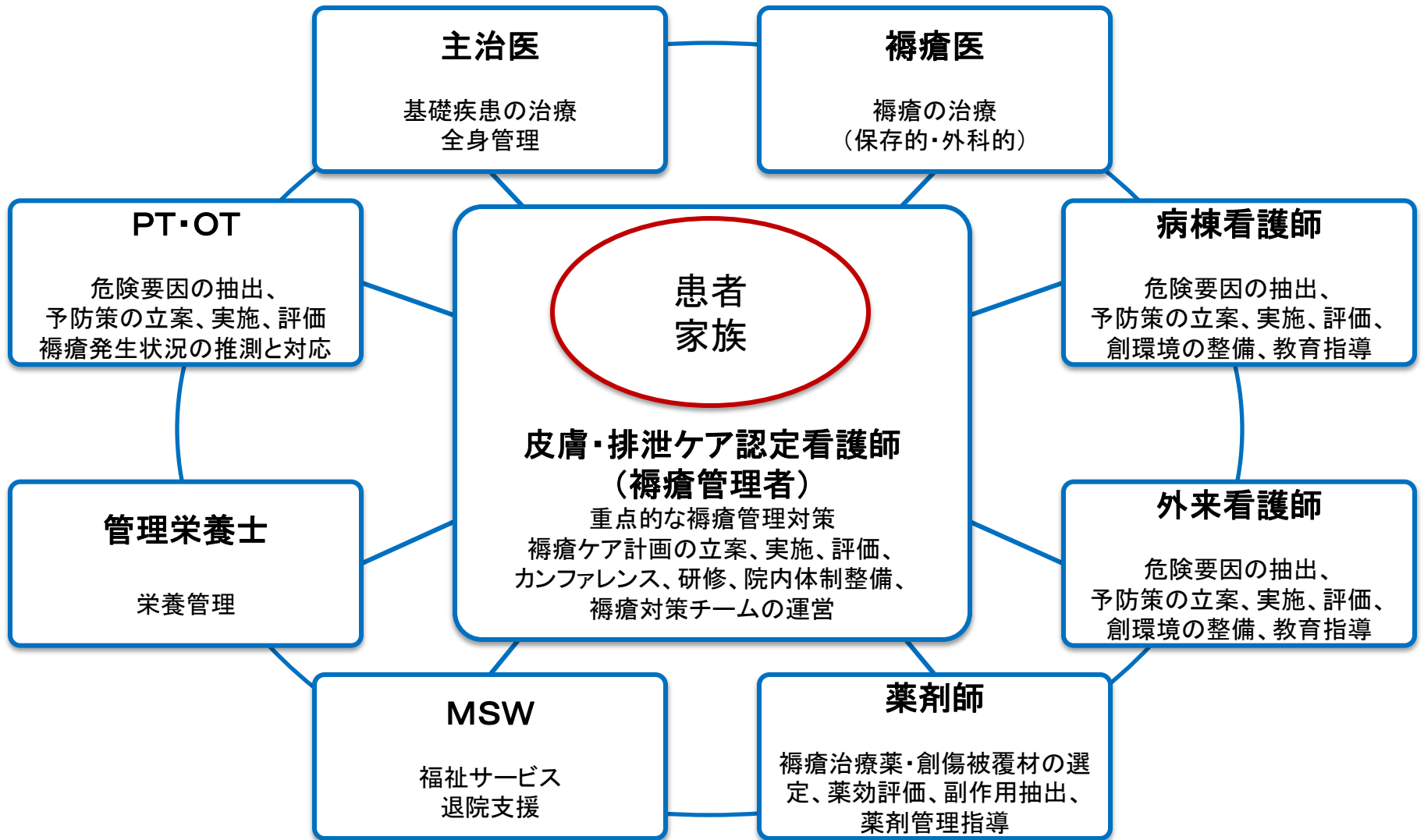


# 一般病院の褥瘡対策チーム (褥瘡ハイリスク患者ケア加算の場合の例)



WOC看護師を褥瘡対策のマネージャとして、各職種と協働するチーム構造

## 2. チーム医療の推進における学会の役割 (日本褥瘡学会)

**設立** 1998年10月1日

**趣旨**

- ・褥瘡や創傷管理に関する教育、研究、専門知識の増進普及を図り、褥瘡の予防と医療の向上、促進と充実に貢献すること
- ・**多職種連携による褥瘡管理の向上**

**正会員** 医療に従事するものおよび医学研究者  
(医師、看護師、介護職員(介護士、ケアワーカー)、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、臨床工学技師、医用工学研究者、薬剤開発技術者)

**会員数** 総数7385名(内看護師4388、医師1970、栄養士254、薬剤師250、理学療法士119、作業療法士20、その他384) 2009.10現在

**学会誌** 4号/年

# チーム医療推進のための事業内容

## 1) コンセンサスー共通用語(学術教育委員会)

- ・ 褥瘡評価－DESIGNツール
- ・ ガイドライン
- ・ 診療報酬に関する指針

## 2) 褥瘡対策評価(実態調査委員会)

- ・ 登録による有病率、重症度のモニタリング(3年に1度)

## 3) 褥瘡認定師制度(認定師認定委員会)

- ・ 各職種別に認定  
(看護師、医師、薬剤師、栄養士、PT、OT)

## 4) 継続教育

- ・ 教育セミナーの実施(各地方会)

## 5) 在宅褥瘡管理の推進

- ・ 各県単位で講習会担当委員を置き、年1回実施

# 2-1) 共通用語としてツールの開発 — 日本褥瘡学会(2002) —

## 褥瘡部アセスメントツールの開発(DESIGN)

褥瘡に関わる**全ての職種が共通言語**で創部を語ること

1. 介入できる — 分類
2. 創部の変化をモニタリングできる — 数量化



**同一のツールをつくる**

D<sub>4</sub> E<sub>3</sub> S<sub>5</sub> I<sub>3</sub> G<sub>4</sub> N<sub>1</sub> = 20



3ヵ月後



d<sub>2</sub> e<sub>2</sub> s<sub>2</sub> i<sub>0</sub> g<sub>1</sub> n<sub>0</sub>-P<sub>4</sub> = 11



# DESIGN ( 褥瘡経過評価用 )

<b>Depth 深さ</b> (創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する )					
<b>d</b>	0	皮膚損傷・発赤なし	<b>D</b>	3	皮下組織までの損傷
	1	持続する発赤		4	皮下組織を越える損傷
	2	真皮までの損傷		5	関節腔、体腔に至る損傷 または、深さ判定が不能の場合
<b>Exudate 浸出液</b>					
<b>e</b>	0	なし	<b>E</b>	3	多量:1日2回以上のドレッシング交換を要する
	1	少量:毎日のドレッシング交換を要しない			
	2	中等量:1日1回のドレッシング交換を要する			
<b>Size 大きさ</b> 皮膚損傷範囲を測定:[長径(cm)×長径と直交する最大径(cm)]					
<b>s</b>	0	皮膚損傷なし	<b>S</b>	6	100 以上
	1	4 未満			
	2	4 以上 16 未満			
	3	16 以上 36 未満			
	4	36 以上 64 未満			
	5	64 以上 100 未満			
<b>Inflammation/Infection 炎症/感染</b>					
<b>i</b>	0	局所の炎症徴候なし	<b>I</b>	2	局所の明らかな感染徴候あり (炎症徴候、膿、悪臭など)
	1	局所の炎症徴候あり (創周囲の発赤、腫張、熱感、疼痛)		3	全身的影響あり (発熱など)
<b>Granulation 肉芽組織</b>					
<b>g</b>	0	治癒あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない	<b>G</b>	3	良性肉芽が、創面の 10%以上 50%未満を占める
	1	良性肉芽が、創面の 90%以上を占める		4	良性肉芽が、創面の 10%未満を占める
	2	良性肉芽が、創面の 50%以上 90%未満を占める		5	良性肉芽が全く形成されていない
<b>Necrotic tissue 壊死組織</b> (混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する )					
<b>n</b>	0	壊死組織なし	<b>N</b>	1	柔らかい壊死組織あり
				2	硬く厚い密着した壊死組織あり
<b>Pocket ポケット</b> 毎回同じ体位で、ポケット全週(潰瘍面も含め)[長径(cm)×短径(cm)]から潰瘍の大きさを差し引いたもの					
なし		記載せず	<b>-P</b>	1	4未満
				2	4以上、16 未満
				3	16 以上、36 未満
				4	36 以上

部位 [ 仙骨部、坐骨部、大転子部、踵部、その他 ( ) ]